

JR岐阜駅周辺バリアフリー基本構想（概要版）

1 基本構想策定の背景と目的

わが国では、高齢社会を迎え、高齢者の自立と社会参加や、障がいの有無にかかわらず誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う「共生社会」の実現が求められています。また、東京オリンピック・パラリンピック開催を契機に「ユニバーサルデザイン」「心のバリアフリー」を推進するため、国により「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画」が策定されるなど、あらゆる人々に対する社会的障壁の除去への要請が一層高まってきています。

こうした中で、近年、JR岐阜駅周辺においては、市街地再開発事業などにより、新たなまちづくりが進められていることに加え、JR岐阜駅内に自由に使えるエレベーターの設置が求められるなど、面的、一体的なバリアフリーの充実が必要となっています。

このため、JR岐阜駅周辺地区を重点整備地区とするバリアフリー基本構想を策定し、駅周辺地区におけるバリアフリーの更なる充実を図り、誰にとっても安全で、便利な環境を面的、一体的に実現することとしました。

2 基本構想の位置付け

- ・高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）
- ・移動等の円滑化の促進に関する基本方針



JR 岐阜駅周辺地区
バリアフリー基本構想

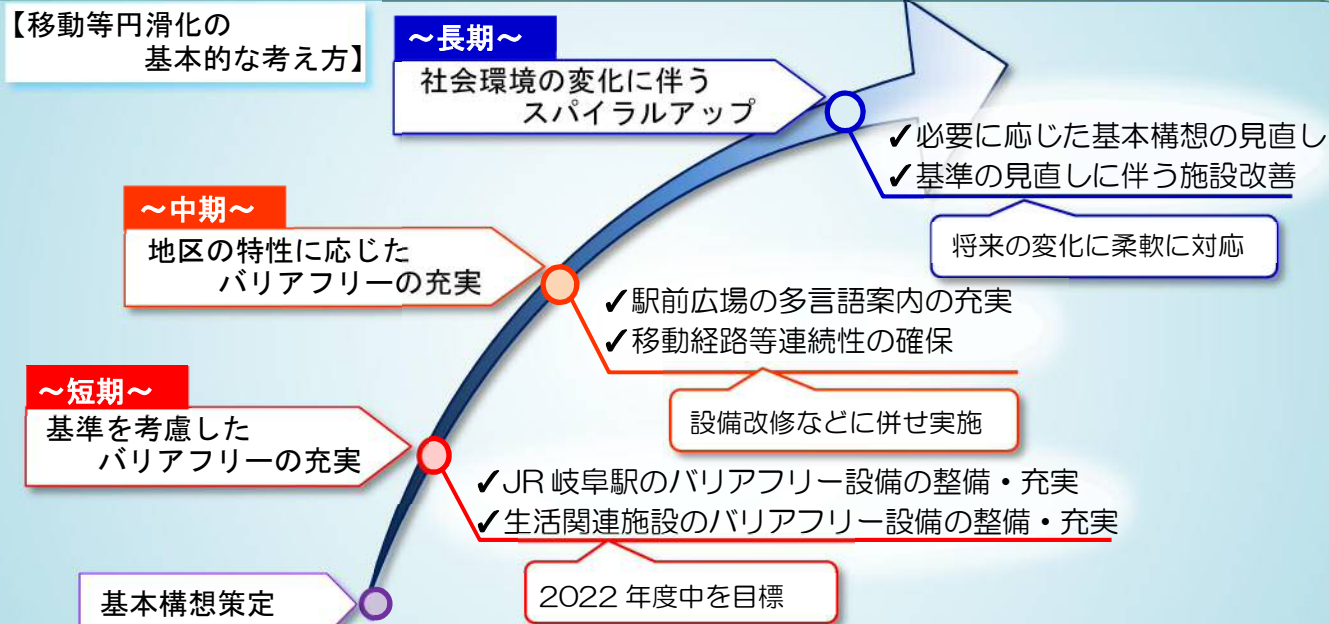
- ・岐阜市総合計画
- ・岐阜市都市計画マスタープラン
- ・岐阜市地域公共交通網形成計画
- ・岐阜市高齢者福祉計画
- ・岐阜市障害者計画
- ・岐阜市次世代育成支援対策行動計画
- ・岐阜市ユニバーサルデザイン推進指針

3 JR岐阜駅周辺地区の移動等円滑化の基本的な考え方と目標年次

本地区には、本市の玄関口であり主要な交通結節点であるJR岐阜駅と駅前広場のほか、商業施設、福祉施設、医療施設、行政施設などが、コンパクトなエリアに集積しているため、日常的に多くの市民や観光客などが、さまざまな目的で訪れています。さらに、本地区周辺においては、名鉄名古屋本線連続立体交差事業や新たな市街地再開発事業なども検討されており、将来的には更にまちづくりが進捗し、人の流れが大きく変化することも考えられます。

そこで、本基本構想の目標年次は、短期整備においては 2022 年度中までとし、中、長期的整備に関しては、以下の考え方に基づき実施します。

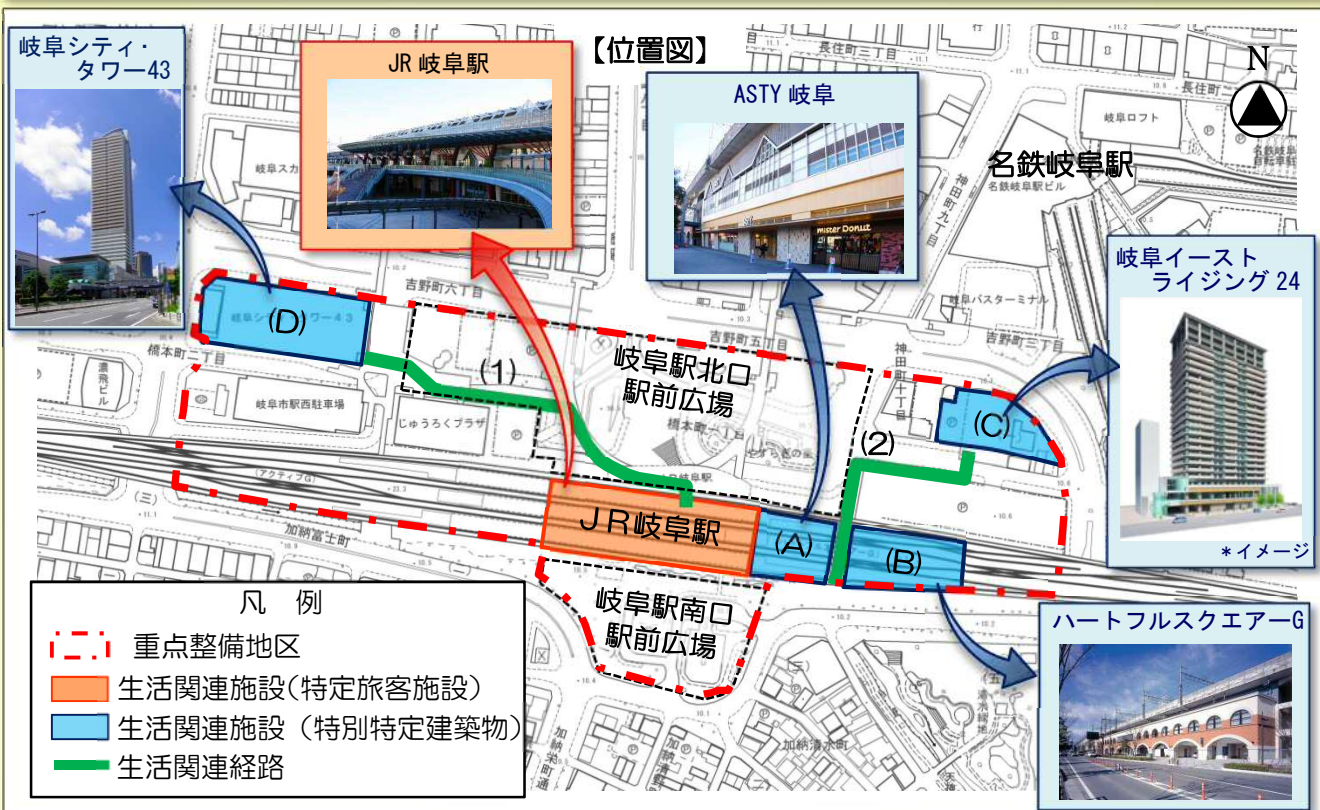
【移動等円滑化の基本的な考え方】



4 重点整備地区の範囲、生活関連施設及び生活関連経路

1) 重点整備地区

本基本構想では、交通結節点であるJR岐阜駅及び駅前広場を中心に、駅周辺におけるまちづくりの中核的な役割を担う福祉施設、商業施設及び行政施設などを含む約 10ha の範囲を重点整備地区とし、連続性、一体性を考慮したバリアフリー化の充実を目指します。



2) 生活関連施設及び生活関連経路

生活関連施設は、バリアフリー法で「高齢者、障害のある人等が日常生活又は社会生活において利用する旅客施設、官公庁施設、福祉施設その他の施設」とされており、本地区では以下のとおり設定しています。

生活関連経路は、バリアフリー法で「生活関連施設相互間の経路」とされており、本地区の歩行者動線を考慮し、以下のとおり設定しています。

生活関連施設（特定旅客施設）

JR 岐阜駅

生活関連経路

(1) 杜の架け橋～スクエア 43

（歩行者用デッキ）

(2) 駅東地区歩行者用デッキ

生活関連施設（特別特定建築物）

(A) ASTY 岐阜

▶ 商業施設

(B) ハートフルスクエアG

▶ 行政施設（図書館・体育館等）

(C) 岐阜イーストライジング 24

▶ 高齢者福祉施設

▶ 商業施設 など

(D) 岐阜シティ・タワー 43

▶ 医療施設

▶ 商業施設 など

JR岐阜駅周辺バリアフリー基本構想（概要版）

5 整備方針と実施事業

1) 整備方針

生活関連施設や生活関連経路等について、本地区の移動等円滑化の基本的な考え方に基づき、以下のとおり整備方針を定め、各施設の整備改善を図ります。

時期	整備方針	対象施設
短期整備	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 移動等円滑化基準不適合箇所の整備 ▶ 移動等円滑化基準を考慮した施設改善 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ JR 岐阜駅 ◆ ASTY 岐阜 ◆ ハートフルスクエア-G
中期整備	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地区内各施設の連続性、一体性の強化 ▶ 情報案内の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ASTY 岐阜 ◆ 生活関連経路（1） ◆ 岐阜駅北口駅前広場 ◆ 岐阜駅南口駅前広場
長期整備	▶ 移動等円滑化基準改正などに対応した施設のスパイラルアップ	◆ 全施設

2) 実施事業

各施設を整備方針に基づきバリアフリー化するため実施すべき事業を以下のとおり「特定事業」及び「その他事業」に位置付けます。

特定事業

種類	施設名	事業者	整備目標	事業概要
公共交通 特定事業	JR 岐阜駅	東海旅客鉄道(株)	2022 年度中	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 改札内に各ホームへ通じるエレベーターの整備 ▶ 構内案内板、点字ブロックの最適化 ▶ 生活関連経路への案内表示の設置
建築物 特定事業	ASTY 岐阜	名古屋ステーション開発(株)	2020 年度中	▶ 3階多目的トイレにオストメイト対応水洗器具設置

その他事業

施設名	事業者	整備目標	事業概要
ASTY 岐阜	名古屋ステーション開発(株)	2020 年度中	▶ 触知案内板の設置
		中期整備	▶ 施設内通行時間を JR 岐阜駅の営業時間と整合するよう運用変更
ハートフルスクエア-G	岐阜市	2018 年度中	<ul style="list-style-type: none"> ▶ エレベーター表示板設置 ▶ エレベーターまでの経路案内表示板設置
生活関連経路（1）	岐阜市	中期整備	▶ 案内サイン表示内容に応じ多言語化
岐阜駅北口駅前広場	岐阜市	中期整備	▶ 案内サイン表示内容に応じ多言語化
岐阜駅南口駅前広場	岐阜市	中期整備	▶ 案内サイン表示内容に応じ多言語化

☆基本構想に位置付けられた「特定事業」には、事業者による特定事業計画の作成とこれに基づく事業実施の義務が課せられます。

6 心のユニバーサルデザインなどソフト施策

1) 心のユニバーサルデザインの推進

岐阜市では、できるだけ全ての人々が利用しやすいまちづくりを進めるため、平成 22 年に「岐阜市ユニバーサルデザイン推進指針」を策定し、ユニバーサルデザインの推進に取り組んでいます。このまちづくりを進めるためには、ハード面の施設整備だけにとどまらず、周りの人の思いやりの心と手助けが必要不可欠です。このため、相手の立場に立ってお互いに思いやる心や、譲り合う心を持つといった「心のユニバーサルデザイン」を広めるため、啓発、広報、教育活動などに取り組んでいます。

2) ソフト施策の推進

啓発・広報・教育活動

- ▶ 障がいのある人に関するマークのポスター・リーフレットの配付等
- ▶ 「理解啓発イベント」開催
- ▶ 障がい者スポーツ体験イベントの開催
- ▶ 出前講座の実施



その他の施策

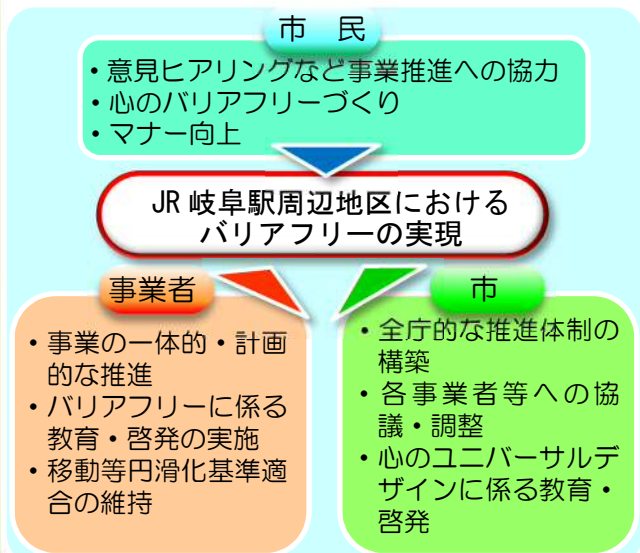
- ▶ 点字版広報、録音版広報の作成
- ▶ バリアフリー促進審議監、技術・バリアフリー指導調整員の設置による、公共工事のバリアフリー促進
- ▶ 岐阜市多言語案内表示ガイドラインの策定



7 バリアフリーの実現に向けて

1) 役割分担

バリアフリーを実現するためには、市民、事業者、市がそれぞれの役割を踏まえ、協働して取り組むことが必要です。



2) 継続的な取組み

バリアフリーに求められる水準、基準は、社会環境の変化とともに、今後も変化していくものと考えられます。

本地区は、本市の玄関口であり重要な交通結節点であるとともに、中心市街地における貴重な賑わい創出拠点の一つとなっています。

したがって、本地区が常にユニバーサルデザインの空間であることを目指し、PDCA サイクルを適切に循環させ、継続的に取組みを進めます。



岐阜市 企画部 政策調整課 調整グループ
 〒500-8701 岐阜市今沢町 18 番地 TEL 058-214-2039 FAX 058-264-1719
 Email chousei@city.gifu.gifu.jp